

平成 23 年 3 月 15 日

一橋陸上競技倶楽部 会員各位

グラウンド改修検討委員会

報 告 書

昨年の総会で「グラウンド改修検討委員会」の立ち上げを報告しました。その後 1 年間の同検討委員会での「検討結果」を以下の通り報告します。

記

同委員会での議論、関係業者からの見積もり聴取、学生との意見交換を踏まえ、次の通り対処することが望ましいとの結論に至った。

- ① グラウンドの公認継続：5 年に一度の公認について イ) 長期的観点からすると、グラウンドの荒廃防止のために有効な施策、ロ) 競技練習・体育授業等における怪我防止のためには、最低限の整備は必要 ハ) 大正 15 年竣工の歴史あるグラウンド等を勘案し、今後とも（4 種公認での）継続が望ましい。
- ② グラウンドの全天候型化（ポリウレタン仕様）：イ) 学生の公認試合が全て全天候型グラウンドで行われていること、ロ) 必要に応じ、適宜全天候型グラウンドを探して練習している実情から（特に試合前）、学生からの強い要望がある。遅くも次回公認検定时（2015 年 10 月）までに、許される範囲内での全天候型グラウンドへの工事を行うことが望ましい。

以上を踏まえ、当委員会では複数の具体案を検討。実施に際しては、大学の下承や基金の活用・会員からの寄付等が必要なため、絞込みまでは行わず。

今後は、全天候型グラウンド実現のための「グラウンド改修推進委員会」(注2参照)を、総会決議の上で立ち上げ、新メンバーで本委員会が推進母体となって実行する。

(注1) グラウンド改修検討委員会メンバー： 委員長 青木俊樹 (S38 年入学)、委員 岩瀬浩一 (同 S41)、同 西 康宏 (同 S53)、同 日渡 淳 (同 S58)、同 西町 崇 (同 H13)

(注2) グラウンド改修推進委員会: 全天候型グラウンドへの改修に関する業務を原則一任。存続期間は平成23年3月～最大同27年10月まで。最高顧問＝千葉金助(昭和28年卒)、会長＝松本正義(同38年入学)、委員長兼事務局長＝青木俊樹(同38年入学)、他(今後委員長が推薦)とし、具体的に工事概要・資金計画の策定、大学との交渉、募金活動等を実施。一橋陸上競技倶楽部会員全員の施策として実行。重要事項については、総会場で決議する。経過については適宜 HP にて公開する。

以上